

一級技術者試験問題2000-2018年実施分（科目：共通）

1. (2018出題) 正しい組合せはどれか。
 - A 単層扁平上皮——口腔粘膜
 - B 単層立方上皮——血管内皮
 - C 移行上皮——膀胱粘膜
 - D 単層円柱上皮——腎尿細管
 - E 重層扁平上皮——小腸粘膜

2. (2018出題) 誤りはどれか。
 - A 総頸動脈は内頸動脈と外頸動脈とに分岐する。
 - B 橈骨動脈は上腕動脈から分岐する。
 - C 内胸動脈は胸大動脈から分岐する。
 - D 腎動脈は腹大動脈から分岐する。
 - E 外腸骨動脈は大腿動脈へ続く。

3. (2017出題) 正しいのはどれか。
 - A 上皮組織では細胞同士の結合は強い。
 - B 血液中に物質を放出する腺組織を外分泌腺と呼ぶ。
 - C 支持組織には細胞成分が豊富である。
 - D 平滑筋は横紋を有する。
 - E 骨質はカルシウム塩とリン酸塩の無機物から構成されている。

4. (2017出題) 体表からの触診で最も触れにくいのはどれか。
 - A 総頸動脈
 - B 椎骨動脈
 - C 橈骨動脈
 - D 大腿動脈
 - E 足背動脈

5. (2015・2010出題) 次の解剖学用語を用いて大腿三角について説明しなさい。
鼠径靭帯、縫工筋、長内転筋、大腿静脈、大腿動脈、大腿神経

6. (2018出題) 死体解剖保存法について正しいのはどれか。
 - A 死体もしくは妊娠6ヶ月以上の死胎に関する保存と解剖について規定している。
 - B 解剖は、解剖室において施行しなければならない、それ以外は警察署長の許可を必要とする。
 - C 死体を解剖するものは本人の承諾のみでよく、遺族の承諾は必要としない。
 - D 解剖によって得た標本は遺族の承諾の上で保存することが出来る。
 - E A～Dすべて誤り。

7. (2017出題) 死体解剖保存法について正しいのはどれか。2つ選べ。
 - A 医学に関する大学の解剖学の教授又は准教授が解剖する場合、厚生労働大臣の許可が必要である。
 - B 死体の解剖をしようとする者は、生前に本人の承諾を受けなければならない。
 - C 解剖を解剖室以外で施行する場合は、保健所長の許可が必要である。
 - D 解剖によって得た標本は、生前の本人の承諾の上で保存することが出来る。
 - E 解剖によって犯罪性があると認めた場合、警察署長に届出なければならない。

8. (2017出題) 正しいのはどれか。2つ選べ。
 - A 「医学及び歯学の教育のための献体に関する法律」は「行政解剖」に関して必要な事項を定めている。
 - B 「献体の意思」とは、「正常解剖」の解剖体として提供することを希望することをいう。
 - C 死亡した者が献体の意思を書面により表示している場合、その旨を遺族に告知しなければならない。
 - D 献体の意思のある方の解剖を遺族が拒む場合でも、「献体の意思」が尊重されなければならない。
 - E 医学又は歯学に関する大学の教授又は准教授は、正常解剖の解剖体として死体を受領したときは、当該死体に関する記録を作成し、これを保存しなければならない。

9. (2017出題) 誤りはどれか。
- A 個人情報保護法の「個人情報」とは生存する個人の情報である。
 - B 生年月日は個人情報である。
 - C DNA配列や虹彩画像などを電子計算機のために変換した符号は個人情報ではない。
 - D 個人情報を保管する場合、漏えい等が生じないように安全に管理する義務がある。
 - E 個人情報を第三者に提供する場合、本人の同意が必要である。
10. (2017出題) 誤りはどれか。
- A ホルムアルデヒドは揮発性である。
 - B ホルムアルデヒドの10%水溶液をホルマリンと呼ぶ。
 - C ホルマリンは低温でパラホルムアルデヒドが析出する。
 - D 市販のホルマリンには10%ほどメタノールが添加されている。
 - E ホルムアルデヒドは毒物および劇物取締法により劇物に指定されている。
11. (2017出題) グリセロールについて、誤りはどれか。
- A 常温で無色透明の液体である。
 - B 水に溶けやすく、吸湿性が強い。
 - C 可燃性である。
 - D 水溶液は凝固点降下により凍結しにくい。
 - E 毒物および劇物取締法により劇物に指定されている。
12. (2017出題) エタノールについて、誤りはどれか。
- A 常温で無色透明の液体である。
 - B 様々な有機溶剤に可溶である。
 - C 沸点は水よりも低い。
 - D 消防法により危険物第4類に指定されている。
 - E 毒物および劇物取締法により毒物に指定されている。
13. (2017出題) 毒物・劇薬の保管、取り扱い等について、誤りはどれか。
- A 保管場所は必ず施錠し、鍵の管理を徹底しなければならない。
 - B 保管、陳列されている毒物劇物の在庫量の定期的点検、使用量の把握をする。
 - C ペットボトル等飲食物に通常使用される容器に移し替えてはならない。
 - D 貯蔵タンクのまわりには防液堤を設置する等構造・設備等の基準を守らなければならない。
 - E 自己処理できない時は、市町村長の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄する。

【回答（選択問題のみ）】

1. (2018出題) 正しい組合せはどれか。
C (A 単層扁平上皮—肺胞上皮、血管内皮等、B 単層立方上皮—腎尿細管等、D 単層円柱上皮—小腸粘膜等、E 重層扁平上皮—皮膚の表皮、口腔粘膜等)
2. (2018出題) 誤りはどれか。
C (内胸動脈は鎖骨下動脈から分岐する。)
3. (2017出題) 正しいのはどれか。
A 上皮組織では細胞同士の結合は強い。
4. (2017出題) 体表からの触診で最も触れにくいのはどれか。
B 椎骨動脈
6. (2018出題) 死体解剖保存法について正しいのはどれか。
D (A 6ヶ月→4ヶ月、B 警察署長→保健所長、C 死体を解剖するものは遺族の承諾を必要とする)
7. (2017出題) 死体解剖保存法について正しいのはどれか。2つ選べ。
C 解剖を解剖室以外で施行する場合は、保健所長の許可が必要である。
E 解剖によって犯罪性があると認めた場合、警察署長に届出なければならない。
8. (2017出題) 正しいのはどれか。2つ選べ。
B 「献体の意思」とは、「正常解剖」の解剖体として提供することを希望することをいう。
C 死亡した者が献体の意思を書面により表示している場合、その旨を遺族に告知しなければならない。
9. (2017出題) 誤りはどれか。
C DNA配列や虹彩画像などを電子計算機のために変換した符号は個人情報ではない。
10. (2017出題) 誤りはどれか。
B ホルムアルデヒドの10%水溶液をホルマリンと呼ぶ。
11. (2017出題) グリセロールについて、誤りはどれか。
E 毒物および劇物取締法により劇物に指定されている。
12. (2017出題) エタノールについて、誤りはどれか。
E 毒物および劇物取締法により毒物に指定されている。
13. (2017出題) 毒物・劇薬の保管、取り扱い等について、誤りはどれか。
E 自己処理できない時は、市町村長の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄する。